

哺

乳

類

**Amami rabbit / *Pentalagus furnessi* / Amami no kuro-usagi / 奄美のクロウサギ**

奄美大島と徳之島のみで自生し、島のシンボルとなった珍しいウサギ。島で長年独自の進化をしたため、見た目は極めて原始的で、体長は 40-50cm ほど、黒っぽい体毛が密生し、耳はとても短く、胴体は丸くふっくらとし、穴を掘るための長い爪を持つ。ウサギにしては後肢は非常に短い。草を主食とした草食動物で、ハブを警戒しながら開けた場所で、食することが多い。奄美のクロウサギは通常単独で生活し、縄張り意識がとても強い。夜行性のため、日中での痕跡は、島内の人通りの少ない道に、夜間移動した際に残した小さい団子状の糞のみである。一時期森林伐採や外来種であるマングースや野良猫に捕食され、絶滅の危機に陥った。その後、外来種の駆除に力をいれ、今では奄美のクロウサギの生息数は安定し、徐々に増えつつある。